

競技注意事項

- 1) 2025年度日本陸上競技連盟規則と本大会要項を適用する。
- 2) 点呼開始は競技開始20分前、点呼終了は10分前とする。点呼開始時間には必ず100m後方の所定の場所にいること。複数種目参加の場合は、事前に競技者係に伝えること。トラック・フィールド競技が重なった場合は、トラック競技を優先させること。この場合必ず競技者係に伝えること。試技順等は日本陸連ルールを適用する。
- 3) リレーのオーダー用紙は、競技開始1時間前までに提出のこと。(用紙については、ホームページからダウンロードしたものを使用するか、競技者係で受け取り、本部1階記録・情報処理係に提出してください。)
- 4) アスリートビブス(ナンバーカード)は、胸部と背部に折らずに確実につけること。ただし、跳躍競技においては、この限りではない。安全ピンは各自で用意する。トラック競技においては、1~9レーンは各自の腰ゼッケンを右腰に付けること。シャツ等を出して腰ゼッケンが隠れることがないように注意すること。10レーン以降の腰ゼッケンは、競技者係で受け取ること。
- 5) 市民大会種目について上位3位までに賞状を授与する。
- 6) 全てのフィールド競技試技は3回とする。走高跳のバーの上げ方は、練習の状況により競技進行時間をふまえて、主任が決定する。場合によっては2段階以上の高さでの練習を行う。
- 7) 競技場内への応援等での立ち入りを禁止する。助言等は、コーチングエリアで行うことができる。競技者は必ず審判に伝え、トラック横断時十分に気を付けること。
- 8) 記録の掲示については、本部2階裏に掲示する。小樽後志陸上競技協会ホームページでも公開する。競技終了後に賞状または記録証を発行するので団体ごとに本部2階で各自引き取って下さい。
- 9) スパイクシューズを使用する場合は、全天候用の9mm以下のピンとする。(全天候用ニードルピンを含む)
- 10) ウォーミングアップは競技に差し支えないようバックストレート側走路を使用してもかまわない。※ミニハードル等の用具の持ち込み、逆走は禁止する。
- 11) ウォーミングアップで1レーンは使用しない。
- 12) ホームストレートは スタートダッシュ、ハードル練習のレーンとする。流し、バトン練習はバックストレートレーンを利用してください。
- 13) ごみは必ず各自持ち帰ること。※ごみ箱は設置していません。